

## 大阪重点犯罪と署指定犯罪

「大阪重点犯罪」と「署指定犯罪」を対象とした「地域の犯罪情勢に即した犯罪抑止総合対策」について、検挙及び防犯の両面にわたる総合的な警察活動を戦略的に展開するとともに、自治体、事業者、地域住民等と連携・協働したオール大阪体制で犯罪の起きにくい安全なまちづくりを推進しています。

### 大阪重点犯罪

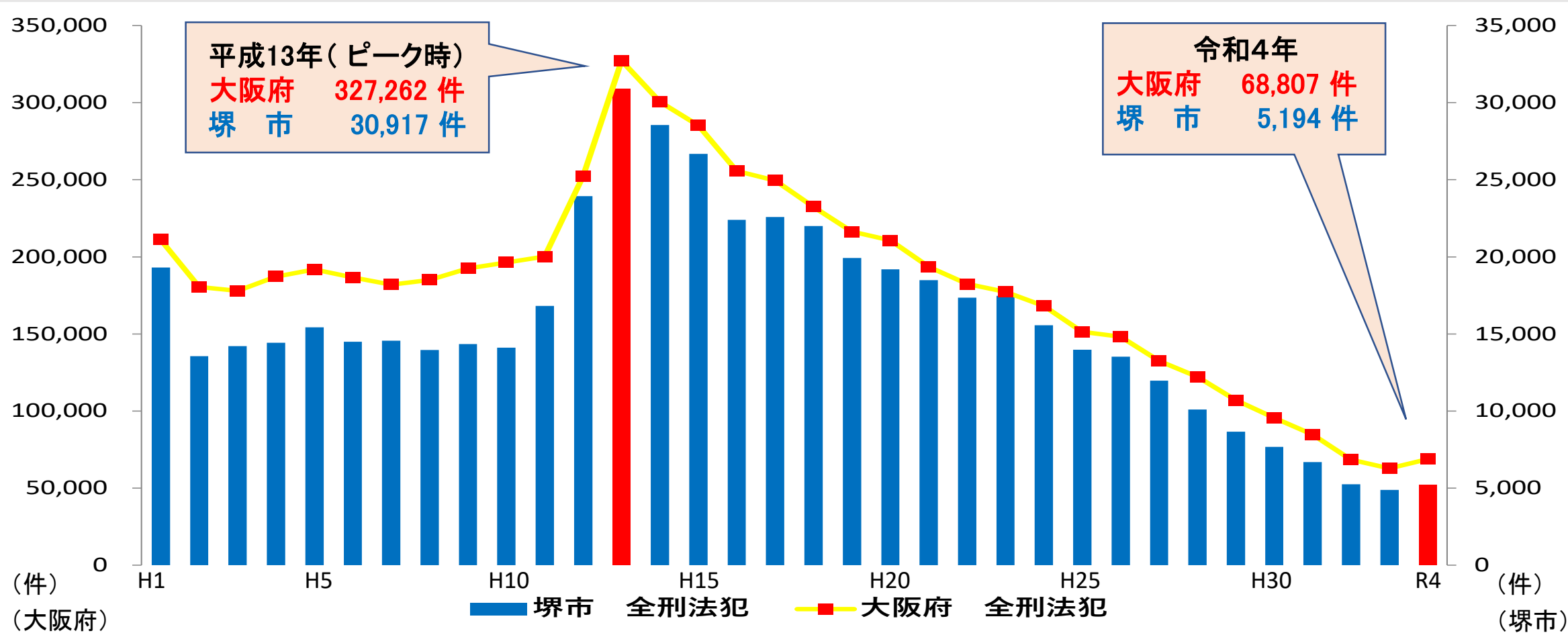
- 性犯罪  
(強制性交等・強制わいせつ・公然わいせつ)
- 特殊詐欺
- 自動車関連犯罪  
(自動車盗・車上ねらい・部品ねらい)

### 署指定犯罪

大阪重点犯罪以外で、警察署管内の発生状況から地域住民等の安全・安心を脅かし、課題等となっている犯罪のうちから、警察署長が指定する犯罪

※ 刑法改正により令和5年7月13日から、強制性交等は「不同意性交等」、強制わいせつは「不同意わいせつ」に罪名が変更されました。

## 刑法犯認知件数の推移（大阪府・堺市）



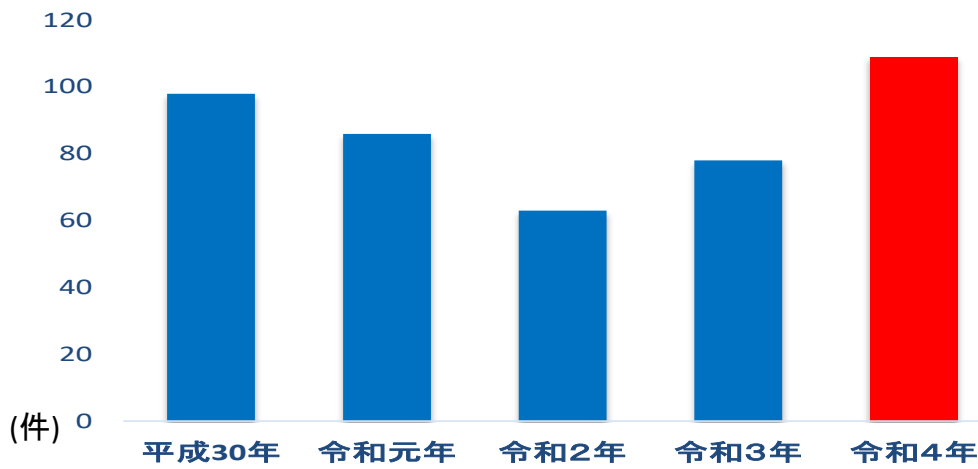
## 堺市における主な刑法犯認知件数

	全刑法犯	性犯罪	特殊詐欺	自動車関連犯罪		
				自動車盗	車上ねらい	部品ねらい
令和3年	4,875	78	98	49	258	228
令和4年	5,194	109	115	94	358	237
(対前年増減率)	+6.5%	+39.7%	+17.3%	+91.8%	+38.8%	+3.9%
府全体の件数	68,807	1,189	2,064	652	3,914	2,345
府全体に占める割合	7.5%	9.2%	5.6%	14.4%	9.1%	10.1%
令和5年6月末	3,145	49	117	29	173	212
府全体の件数	38,357	536	1,491	280	2,086	1,368
府全体に占める割合	8.2%	9.1%	7.8%	10.4%	8.3%	15.5%

※ 令和5年6月末の数値は、速報値を示す。 ※ 「性犯罪」は、強制性交等、強制わいせつ、公然わいせつの合計値を示す。

# 堺市の性犯罪の情勢

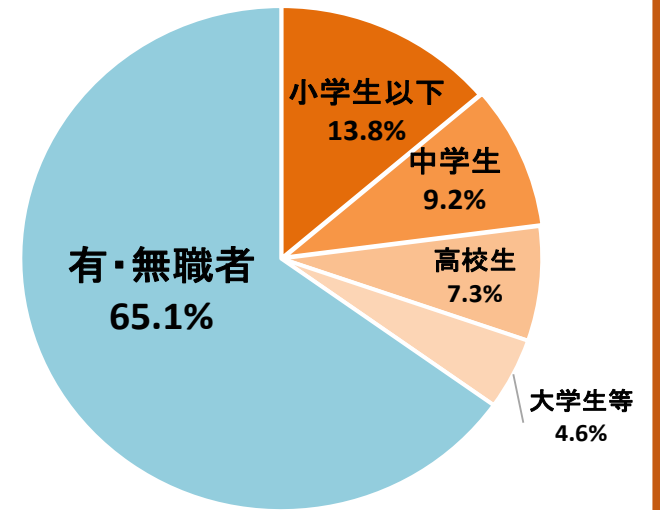
## 性犯罪 認知件数 推移(過去5年)



	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
性犯罪	98	86	63	78	109

※ 性犯罪は、「強制性交等、強制わいせつ、公然わいせつ」の合計を表す。

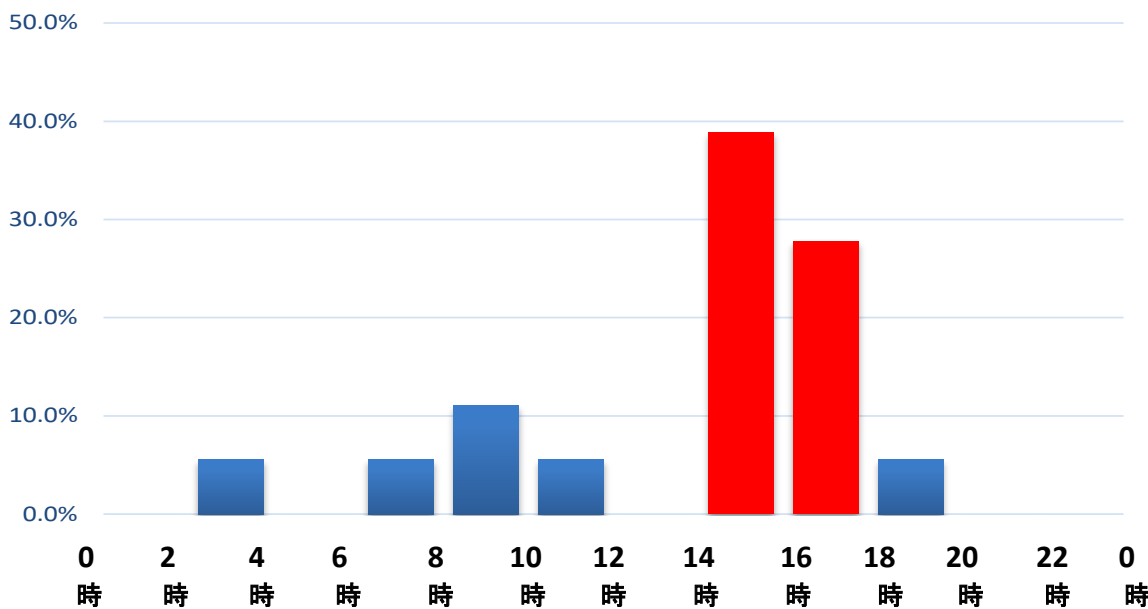
## 性犯罪 被害者 学職別(令和4年中)



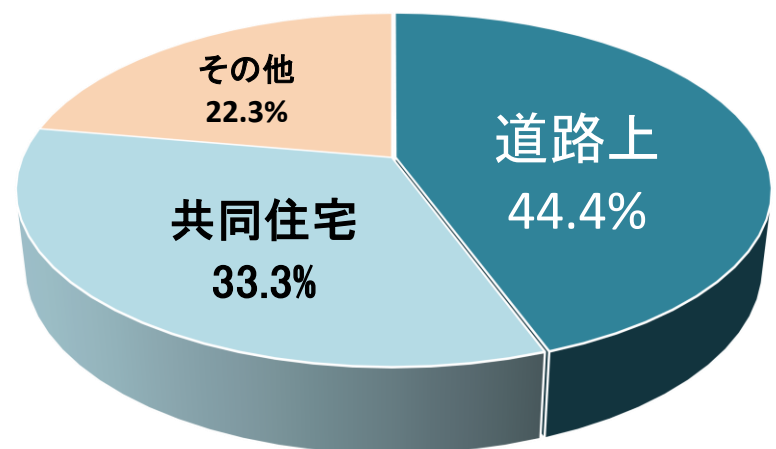
➤ 堺市における性犯罪の被害者のうち、約35%が学生及び未就学児である。

## 性犯罪被害【13歳未満】状況(令和4年中)

### 【被害時間】



### 【被害場所】



➤ 13歳未満の性犯罪被害について、発生時間帯は14時から18時の間が最も多く、発生場所については道路上が約44.4%を占めている。

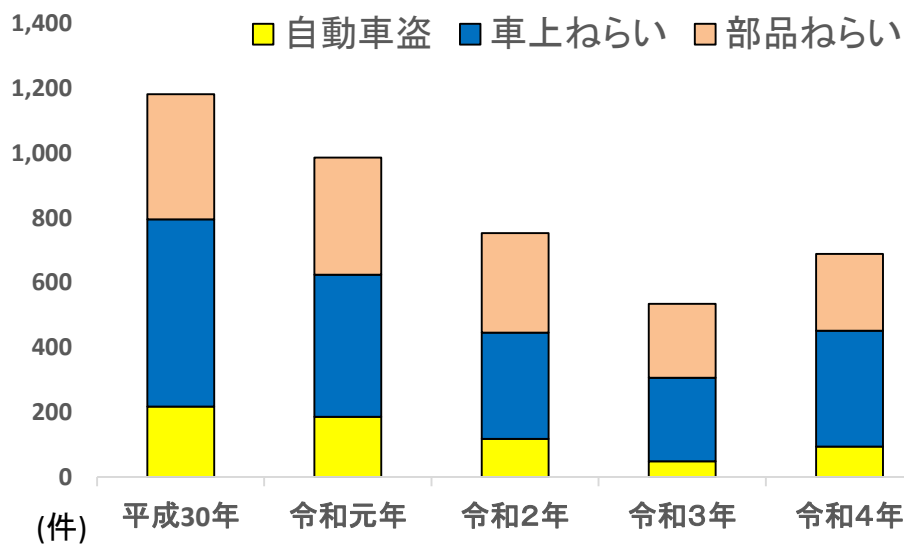
### 【総評(令和4年)】

- 性犯罪の総数は、年々減少傾向であったが、令和3年から増加に転じ、令和4年は令和3年と比較して、約40%増加した。
- 被害者の学職別で見ると、最も多いのが、小学生以下(13.8%)である。

※ 刑法改正により令和5年7月13日から、強制性交等は「不同意性交等」、強制わいせつは「不同意わいせつ」に罪名が変更されました。

# 堺市の自動車関連犯罪の情勢

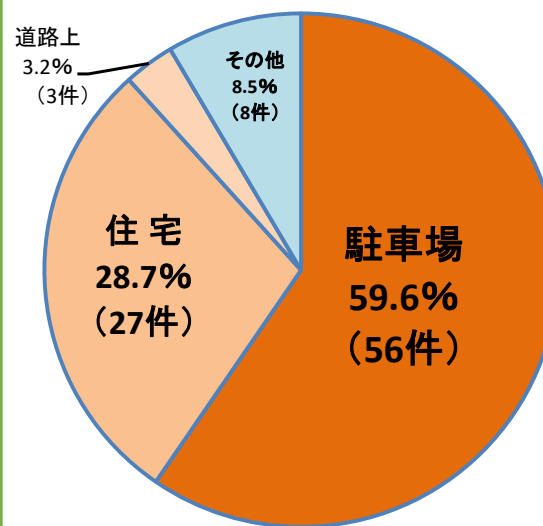
## 自動車関連犯罪認知件数 推移(過去5年)



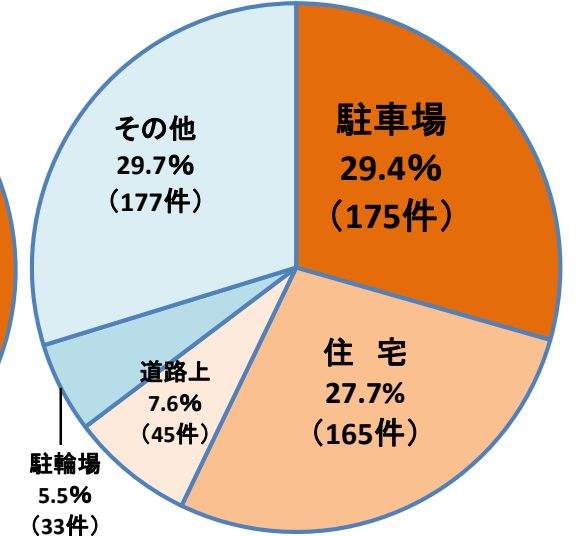
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
総数	1,183	987	754	535	689
自動車盗	218	186	118	49	94
車上ねらい	578	439	328	258	358
部品ねらい	387	362	308	228	237

## 自動車関連犯罪被害場所(令和4年中)

### 【自動車盗】



### 【車上ねらい・部品ねらい】



### 【総評(令和4年)】

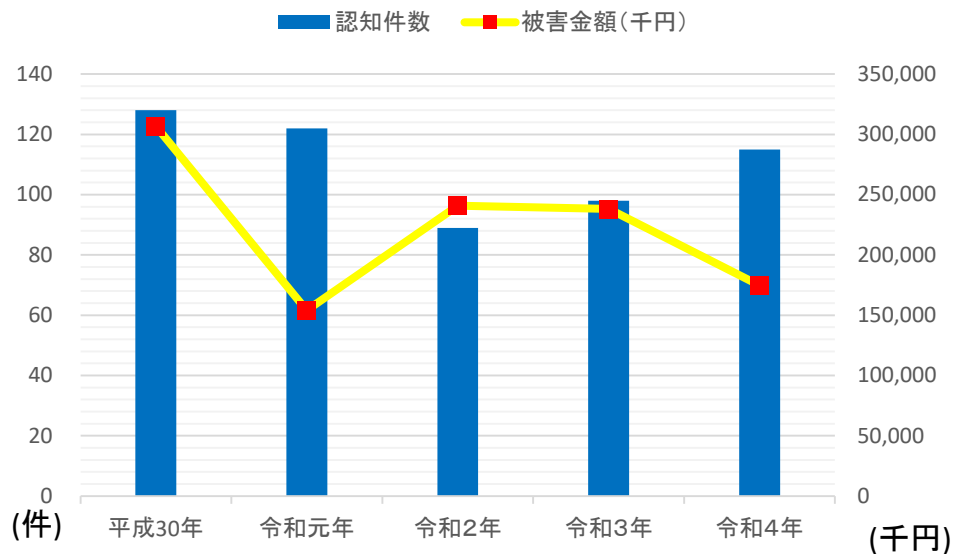
- 自動車関連犯罪の総数は、令和3年と比較して154件(約28.8%)増加した。
- 令和3年と比較して全ての罪種で増加しているが、特に自動車盗の増加が45件(約91.8%)と目立っている。
- 被害場所は、駐車場が最も多く、次に住宅での被害が多い。

# 堺市の特殊詐欺の情勢

## 堺市の被害状況推移(過去5年)

※ 被害金額は、千の位を四捨五入した額を示す。

		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
認知件数	堺市	128	122	89	98	115
	大阪府	1,771	1,809	1,107	1,538	2,064
被害金額	堺市	3億670万	1億5,412万	2億4,079万	2億3,805万	1億7,480万
	大阪府	37億4,814万	25億1,847万	22億4,806万	24億1,441万	31億9,115万



## 堺市各区の被害状況

※ 令和5年6月末の数値は速報値を示す。

令和4年	認知件数	前年比(件)	被害金額	前年比(円)
堺市	115	+17	1億7,480万	-6,325万
堺区	24	+5	2,808万	-187万
北区	19	-3	2,282万	-5,115万
西区	24	+12	5,596万	-457万
中区	13	+1	2,693万	+585万
南区	15	+2	2,018万	-88万
東区	7	-8	586万	-2,014万
美原区	13	+8	1,496万	+949万

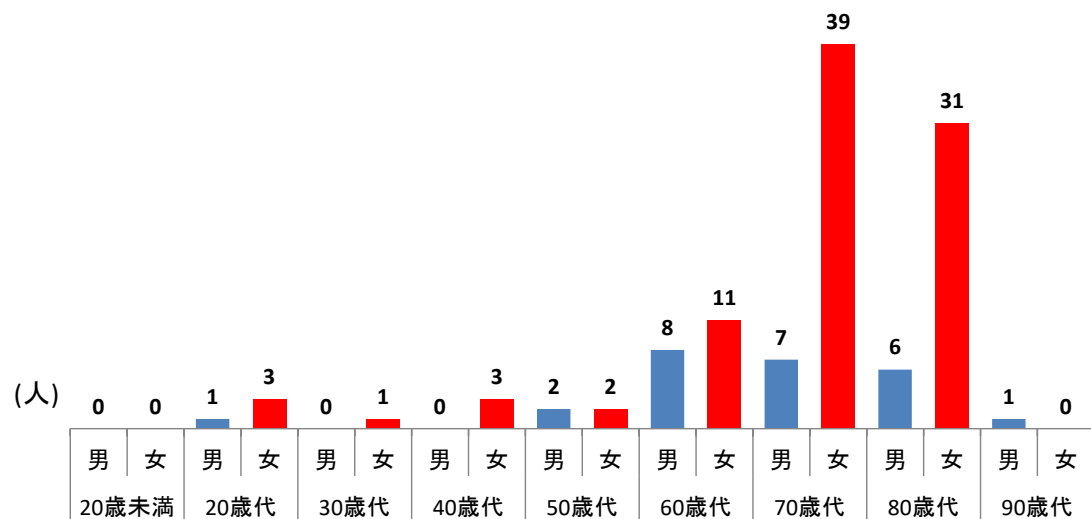
令和5年6月末	認知件数	前年比(件)	被害金額	前年比(円)
堺市	117	+74	2億8,308万	+2億3,786万
堺区	20	+10	4,464万	+3,723万
北区	17	+8	1億4,128万	+1億3,095万
西区	22	+15	1,555万	+1,259万
中区	9	+3	395万	-194万
南区	31	+25	5,278万	+3,821万
東区	13	+10	2,051万	+1,701万
美原区	5	+3	437万	+382万

## 手口別被害状況(1~6月)

※ 令和5年6月末の数値は速報値を示す。

	認知件数				被害金額			
	令和4年 (1-6月)	令和5年 (1-6月)	増減		令和4年 (1-6月)	令和5年 (1-6月)	増減	
			件数	増減率			増減額	増減率
特殊詐欺全体	43	117	+74	+172%	4,522万	2億8,308万	+2億3,786万	+526%
オレオレ詐欺	2	6	+4	+200%	747万	1,690万	+943万	+126%
預貯金詐欺	6	13	+7	+117%	570万	596万	+26万	+5%
架空料金請求詐欺	12	43	+31	+258%	1,042万	1億7,485万	+1億6,443万	+1,578%
融資保証金詐欺	1	0	-1	-	243万	0	-243万	-
還付金詐欺	9	36	+27	+300%	481万	3,966万	+3,485万	+724%
キャッシュカード詐欺盗	13	18	+5	+38%	1,439万	3,411万	+1,972万	+137%
上記以外	0	1	+1	-	0	1,160万	+1,160万	-

## 被害者【年齢別・男女別】(令和4年中)



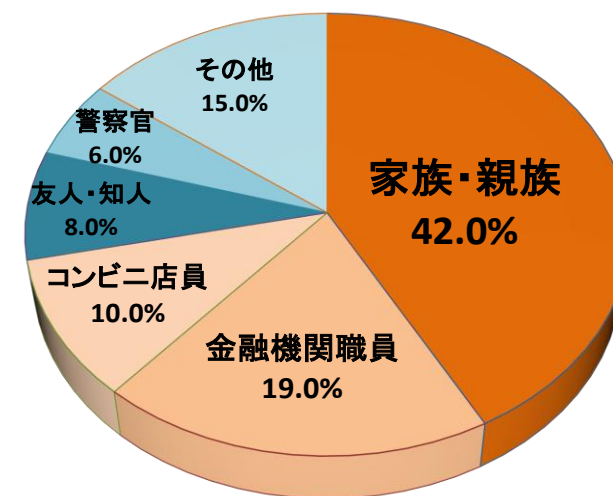
### 【総評】

- 令和4年は前年と比較して、認知件数は17件(約17.3%)増加したが、被害金額は約6,325万円減少した。
- 令和5年6月末現在では、前年同期比で特殊詐欺全体の認知件数は172%増加し、特に還付金詐欺の増加が顕著である。
- 被害者の年齢別男女別では、70歳代・80歳代の女性が突出して多く、男女合わせて、60歳代以上の被害が全体の約89.6%を占めた。
- 第三者による未然防止のうち、家族・親族、金融機関職員によるものが約61%を占めた。

## アポ電等の認知件数

	令和3年	令和4年	R5(1-6月)
アポ電	664	542	499
未然防止	105	88	98
被害認知	98	115	117

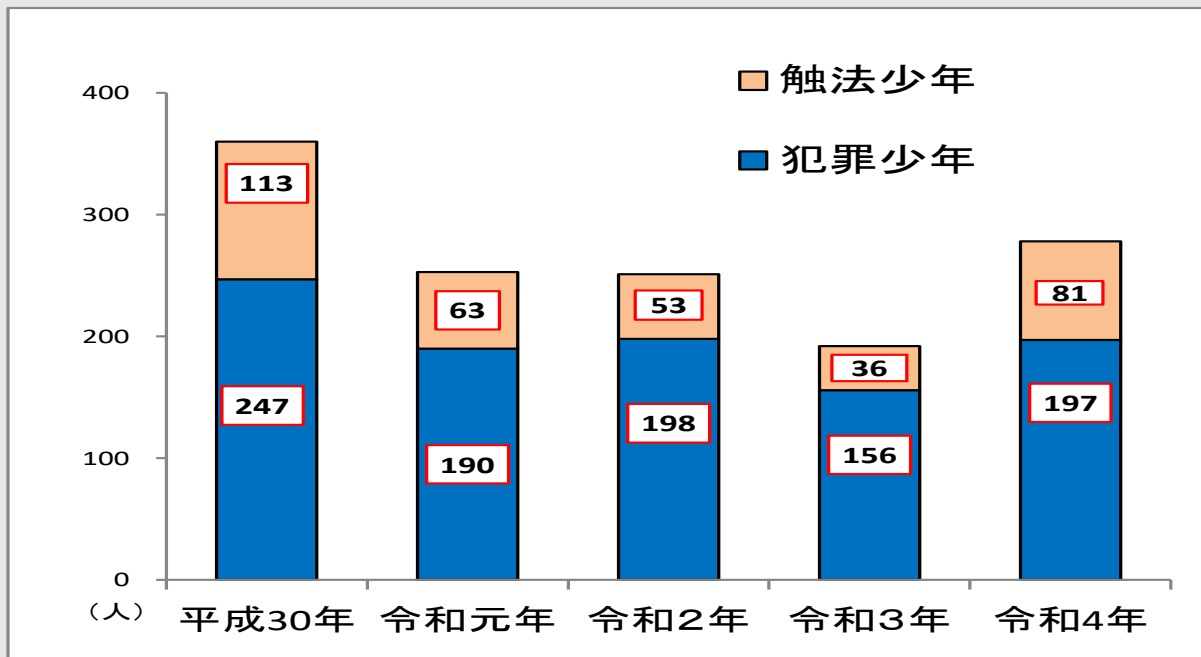
## 未然防止者(第三者)の内訳(令和4年中)



注) アポ電及び未然防止の件数は、堺市内を管轄する各警察署の報告を基にした件数である。(大阪狭山市を含む。)

# 堺市内6警察署の少年非行の情勢

## 刑法犯少年 検挙・補導人員（過去5年）



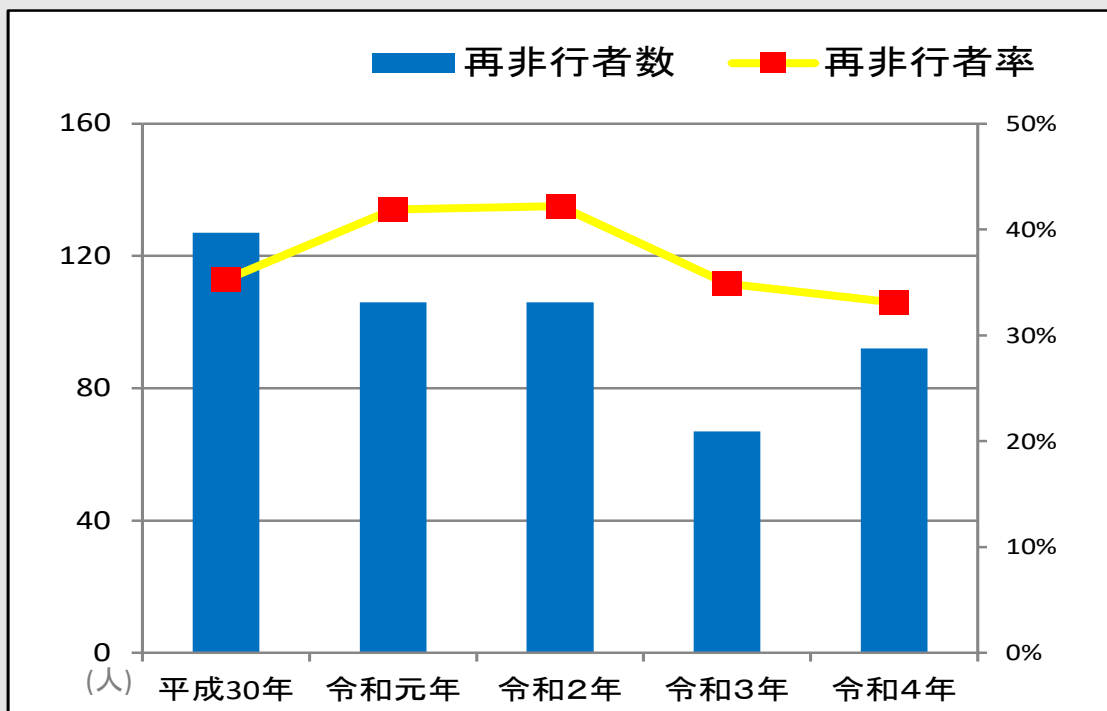
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
刑法犯少年	360	253	251	192	278
犯罪少年	247	190	198	156	197
触法少年	113	63	53	36	81
少年の占める割合	23.4%	19.5%	19.2%	15.9%	21.7%

- ※ 少年……20歳未満の者
- ※ 犯罪少年…犯罪行為をした14歳以上の少年
- ※ 触法少年…刑罰法令に触れる行為をした14歳未満の少年
- ※ 少年の占める割合…刑法犯で検挙(成人を含む)又は補導した人員のうち、少年の占める割合

## 刑法犯少年 検挙・補導人員（R3とR4の比較）

刑法犯(罪種別)	令和3年	令和4年	前年比
少年総数	192	278	+86
凶悪犯	6	13	+7
殺人	1	3	+2
強盗	4	4	0
放火	0	1	+1
強姦等	1	5	+4
粗暴犯	17	48	+31
暴行	3	11	+8
傷害	12	30	+18
脅迫	0	6	+6
恐喝	2	1	-1
窃盗犯	92	148	+56
自動車盗	0	1	+1
オートバイ盗	27	24	-3
自転車盗	14	30	+16
ひったくり	0	0	0
車上ねらい	3	2	-1
部品ねらい	14	9	-5
万引き	23	58	+35
その他	11	24	+13
知能犯	19	2	-17
詐欺	16	2	-14
その他	3	0	-3
風俗犯	13	16	+3
強制わいせつ	10	13	+3
公然わいせつ	3	3	0
その他の刑法犯	45	51	+6
占有離脱物横領	13	21	+8
その他	32	30	-2

## 刑法犯少年 再非行者数・再非行者率（過去5年）



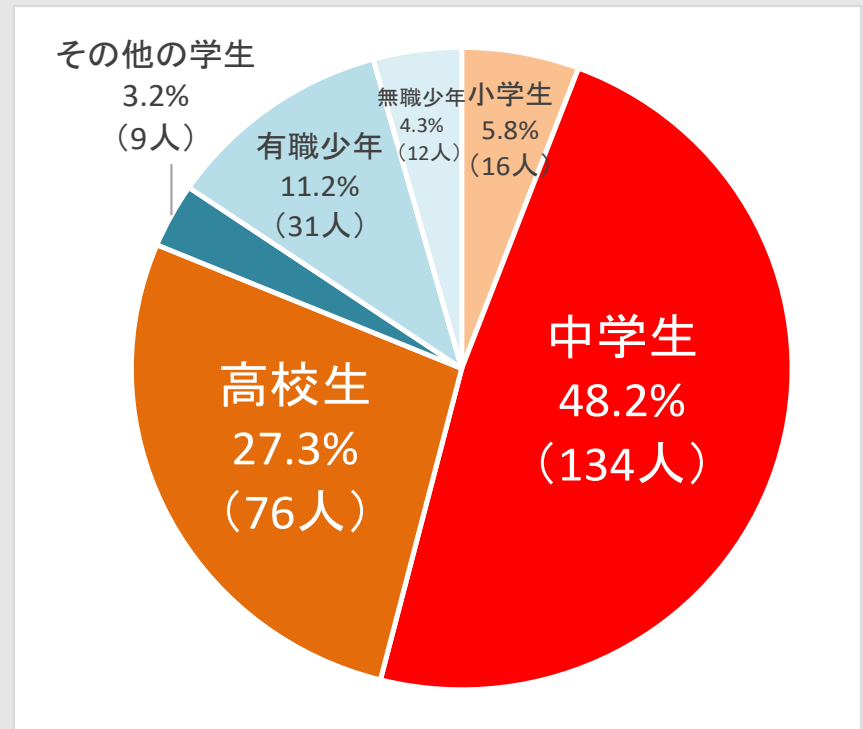
区分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
再非行者数	127	106	106	67	92
再非行者率	35.3%	41.9%	42.2%	34.9%	33.1%

- ※ 再非行者率…犯罪少年・触法少年のうち、過去に何らかの非行により、検挙・補導されたことのある少年の割合

### 【総評(令和4年)】

- 刑法犯少年の検挙・補導人員は278人で、前年より86人(約44.8%)増加した。
- 刑法犯では、窃盗犯が約61%増加するなど、ほとんどの罪種で増加したが、知能犯については約89%減少した。
- 学職別では、中学生が約48.2%で、全体の約半数を占め、高校生と合わせると約75.5%を占めた。
- 刑法犯少年の再非行者数は92人で、前年比で25人(約37.3%)増加した。
- 特別法犯では、少年の軽犯罪法違反や銃刀法違反等の検挙・補導人員は減少したが、児童買春・児童ポルノ法違反及び大麻取締法違反や覚醒剤取締法違反等の薬物事犯は増加した。

## 刑法犯少年(学職別) 検挙・補導人員(令和4年中)



## 特別法犯少年 検挙・補導人員（R3とR4の比較）

特別法犯(罪種別)	令和3年	令和4年	前年比
少年総数	62	80	+18
軽犯罪法	33	27	-6
大麻取締法	10	21	+11
覚醒剤取締法	0	1	+1
銃刀法	6	1	-5
児童買春・児童ポルノ法	0	12	+12
迷惑防止条例	8	8	0
青少年保護育成条例	1	2	+1
その他	4	8	+4

注) 各統計には、黒山警察署の大阪狭山市が含まれる。